

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

1. 大正区将来ビジョン2025の改訂について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
1-1	北方委員	保健福祉課 (こども・教育)	9ページ 第3章 計画策定の基本的方向性 1 時代・現状認識	<p>女性や高齢者の一層の労働参加が求められている、とある。提起は良好と思われるが、例として子育て世代が働くための保育所の保育時間は7:30～18:30。時短のパート就労であれば辛うじて送り迎え可能であるが、正社員就労であれば通勤時間も含め、日々この保育時間はかなり過酷と思われる。</p> <p>この現状は何十年も前の私の子育てで状況とあまり変わっていないのが残念と思われる。こういう問題点に区としての個性としてメスを入れることで、若い世代に住みたい街、働き続けやすい街としての大正区を印象付けることができ、区の人口増へ寄与することが可能ではないかと思われた。</p>	<p>国で策定された「こども未来戦略」(令和5年12月22日)では、次元の異なる少子化対策の実現に向けて、「若い世代の所得を増やす」、「社会全体の構造・意識を変える」、「全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する」という基本理念のもと、「これまでにない規模で全てのこども・子育て世帯を対象にライフステージ全体を俯瞰して、切れ目ない子育て支援の充実を図るとともに、共働き・子育てを推進していくための総合的な対策を推進していく。」とされています。</p> <p>基本理念の「社会全体の構造・意識を変える」では、働き方改革の推進とそれを支える育児休業制度等の強化など、官民あげて強化に取り組んでいくこととなっていますので、今後、国の動向を見据えてまいります。</p>
1-2	土井委員	地域協働課 (地域協働)	26ページ 第4章 将来像を実現する4つの柱 2 地域で支えあう安全なまち「大正」 (3)空家等への対策	<p>特定空家の令和7年度目標件数が33件(令和3年度は25件)。特定空家は減少が望ましいと思っていたが、特定空家の把握ができていないので進めるといったニュアンスでしょうか。</p>	<p>大阪市の空家等対策として、専門家団体等や関係局と連携しながら総合的な空家等対策を効果的・計画的に実施するため、計画期間をR3年度～R7年度とする大阪市空家等対策計画(第2期)(以下、市対策計画)を策定しています。</p> <p>大阪市の特定空家の件数は平成30年度の地震・台風の影響等によって急増しており、市対策計画においては特定空家の増加を抑制するため、その目標値を令和7年度で900件未満としています。</p> <p>大正区においては、市対策計画を基に計画期間を同じくする大正区空家等対策アクションプラン(第2期)を策定し実施しており、市対策計画での目標値を大正区の特定空家件数で按分した33件未満としています。よって将来ビジョン2025改訂版においてもその旨を記載します。</p> <p>特定空家物件は微増していますが、令和6年4月1日から相続登記申請が義務化されることから、所有者特定に要する期間が短縮され、通報から是正までの期間短縮に繋がることが期待されます。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

1. 大正区将来ビジョン2025の改訂について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
1-3	土井委員	地域協働課 (地域協働)	36ページ 第4章 将来像を実現する4つの柱 4 にぎわいと魅力あふれるまち「大正」 (2)ものづくり企業の活性化	ものづくり実行委員会や委員会が実施するイベントへの周知や好感を持つ人の割合が増えているのが喜ばしい。まさに継続は力だと思いました。	引き続き、「ものづくりのまち大正」としてものづくり事業実行委員会と連携し取り組んでまいります。
1-4	土井委員	総務課 (庶務)	41ページ 第5章 4つの柱を支える共通の取組 3 区民ニーズの把握	さっそくInstagramを開設していて驚きました。昨年やったフォトコンテスト等もSNS上でやってもいいかもしれませんね。	大正区役所公式Instagramは2月1日より開設いたしました。写真や動画などのビジュアルに特化しており、これからも区に関連した魅力的な画像や動画をお届けしてまいります。また、SNSの積極的な活用も考えてまいります。  TAISHODODESHOW 大正区役所Instagram

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

2. 令和6年度大正区運営方針(案)及び予算(案)、事業・業務計画書(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
2-1	土井委員	保健福祉課 (健康づくり・保健活動)	【令和6年度大正区運営方針(案)】 経営課題1 健康で安心して暮らせるまち「大正」	検診数の増加、ひいては健康寿命の向上に向けて具体的な施策がもし決まっていたら教えてください。	<p>がん検診の受診者数の増加、並びに区民の健康寿命延伸に向け、これまで以上に区民の方への啓発の機会を増やすなどの取組を行います。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸及び禁煙に関するセミナー等啓発イベントを新たに開催する。 ・健康寿命延伸に資する生活習慣改善等啓発リーフレットを作成し、区内全戸に配布する。 ・小学生保護者等を対象に、乳がん・子宮頸がん検診のリーフレット(健康情報ガイド)を作成し、配布する。 ・各種イベント開催時にがん検診申込受付ブースを設ける。
2-2	土井委員	保健福祉課 (こども・教育)	【令和6年度大正区運営方針(案)】 経営課題3 こどもの未来が輝くまち「大正」	こどもの居場所という意味で、フリースクール誘致の検討、是非の検討は行われているのでしょうか。	<p>フリースクールの誘致の検討については、本市においてはフリースクールへの財政的支援などの補助制度がなく、また、区の予算でも誘致することは困難であると考えており、検討しておりません。</p> <p>一方、今年度より区独自の取組みである学習・登校サポート事業を拡充し、不登校など支援につながりにくい課題を抱える中学生に対して、学校・家庭以外の第三の「居場所」を区役所に設置し、専門のスタッフが一人ひとりに寄り添った支援を行っています。</p> <p>不登校生徒が民間施設や学校外において相談・支援を受けている場合、学校長の判断において、「出席扱い」とすることができる制度があり、区役所の「居場所」も学校長の判断において適用されていると確認しています。</p> <p>また、本市の不登校対策について、教育委員会では多様な学びの場として教育支援センター(適応指導教室)花園、桃谷、新大阪の3か所を開設しているほか、令和6年4月には、不登校の生徒に対して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う特例校である心和中学校が開校予定です。これらの施策と併せて支援を行ってまいります。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

2. 令和6年度大正区運営方針(案)及び予算(案)、事業・業務計画書(案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
2-3	北方委員	総務課 (庶務)	【令和6年度大正 区事業・業務計 画書(案)】 5. エリア価値の 向上に向けた地 域活性化事業	市内8か所の内、7か所の渡船が大正区において「動く橋」として運航され、川のある街としても当区のポテンシャルとしての観光要素も伺え、当区の魅力としてもっとアピールしていく必要があるのではないかと。また、当区の渡船周辺の夕陽の美しさを撮影しており良さをアピールしていた写真家の意見を聞いたことがある。生活に密着するだけでなく景観の美しさも兼ね備えたアピールの考慮が必要と思われる。	<p>渡船につきましては、令和4年6月に水都大阪の交通を支えてきたとして、日本船舶海洋工学会より「ふね遺産」に認定され、広報紙「こんにちは大正」やX(旧ツイッター)に記事を掲載するとともに、区役所内に認定証や認定プレートの展示等を行い、渡船の魅力を広くアピールしてきたところでございます。</p> <p>渡船をはじめ、大正区には魅力的な景観がたくさんございますので、2月1日に開設いたしました大正区役所公式Instagramも活用しながらアピールを行い、大正区に住んでみたい、関わってみたいと思っただけの方々を増やして行きたいと考えております。</p>  <p>広報紙「こんにちは大正」 2022年12月号 8ページ 大正タイムス</p>